

国立大学法人東京工業大学の中期目標 新旧対照表

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|---|---|------------------------|
| <p>(前文) 大学の基本的な目標</p> <p>(略)</p> <p>第3期中期目標期間においては、『出藍の学府の創造。日本の東工大から世界の Tokyo Tech へ』を基本方針に掲げ、学長のリーダーシップの下、大学の総力を結集して世界のトップスクールに比肩しうる教育研究体制を構築する。そのことによって、教育面ではトップレベルの質の高い教育を実現して、世界に飛翔する気概と異文化を受容する柔軟性を具備し、科学技術を俯瞰できる優れた人材を輩出することを目標とする。<u>さらに研究面では、地球環境と人類の調和を尊重しつつ、真理の探究と革新的科学技術の創出によって、産業の進展に寄与するとともに、地球上全ての構成員の福祉の増進に資することを目標とする。</u></p> <p><u>この目標を達成するべく、全ての教職員が法令遵守を職務遂行の根幹として踏まえ、未踏の科学技術分野を切り拓く一員としての自覚と熱意をもって、日々の教育研究に邁進する。</u></p> | <p>(前文) 大学の基本的な目標</p> <p>(略)</p> <p>第3期中期目標期間においては、『出藍の学府の創造。日本の東工大から世界の Tokyo Tech へ』を基本方針に掲げ、学長のリーダーシップの下、大学の総力を結集して世界のトップスクールに比肩しうる教育研究体制を構築する。そのことによって、教育面ではトップレベルの質の高い教育を実現して、世界に飛翔する気概と異文化を受容する柔軟性を具備し、科学技術を俯瞰できる優れた人材を輩出することを目標とする。<u>また研究面では、地球環境と人類の調和を尊重しつつ、真理の探究と革新的科学技術の創出によって、産業の進展に寄与するとともに、地球上全ての構成員の福祉の増進に資することを目標とする。さらに、これら教育・研究の目標を豊かな未来社会の構築に合致させるべく、全世界的な課題への対応を希求する社会の潮流に真摯に向き合い、学術的な叡智に立脚して社会と科学技術を客観的に分析し、深く洞察することにより未来社会像をデザインし、広く社会と共有するとともに、本学の教育と研究に還元することを教育・研究の共通目標とする。</u></p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p>以下に、主な事項ごとの基本的な目標を掲げる</p> <p>教育</p> <p>学生の自主性と進取の気性を受容しかつ国際通用性を見据えた教育体系を構築するため、平成 28 年度に従来の 3 学部・23 学科、6 研究科・45 専攻を改組し、新たに 6 学院（学部・学科、研究科・専攻に相当）とリベラルアーツ研究教育院を設置して、大括りの教育組織により学士課程と修士課程及び修士課程と博士後期課程を有機的に接続した教育を実施する。そして以下の 3 方策を実施することにより、国内外の産業界を牽引し、世界に飛翔する気概と人間力を備え、科学技術を俯瞰できる優れた人材を輩出する。</p> <p>(1) 世界のトップスクールとしてのカリキュラムの構築及び大学院教育の英語化を核とした国際化の推進</p> <p>(2) 適正な成績評価・学位審査と達成度進行による能動的学修の実現</p> <p>(3) 高大接続教育の推進と大学入学者選抜の改革</p> | <p><u>これらの</u>目標を達成するべく、全ての教職員が法令遵守を職務遂行の根幹として踏まえ、未踏の科学技術分野を切り拓く一員としての自覚と熱意をもって、日々の教育研究に邁進する。</p> <p>以下に、主な事項ごとの基本的な目標を掲げる。</p> <p>教育</p> <p>学生の自主性と進取の気性を受容しかつ国際通用性を見据えた教育体系を構築するため、平成 28 年度に従来の 3 学部・23 学科、6 研究科・45 専攻を改組し、新たに 6 学院（学部・学科、研究科・専攻に相当）とリベラルアーツ研究教育院を設置して、大括りの教育組織により学士課程と修士課程及び修士課程と博士後期課程を有機的に接続した教育を実施する。そして以下の 3 方策を実施することにより、国内外の産業界を牽引し、世界に飛翔する気概と人間力を備え、科学技術を俯瞰できる優れた人材を輩出する。<u>それとともに、未来社会像をデザインする教育を果敢に取り入れていく。</u></p> <p>(1) 世界のトップスクールとしてのカリキュラムの構築及び大学院教育の英語化を核とした国際化の推進</p> <p>(2) 適正な成績評価・学位審査と達成度進行による能動的学修の実現</p> <p>(3) 高大接続教育の推進と大学入学者選抜の改革</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p data-bbox="161 204 255 239">研究</p> <p data-bbox="161 252 869 507">世界の大学や研究機関において抜本的な研究の質向上と国際共同研究の活性化が図られる中、本学が革新的な科学・技術を先導し、産業の進展に寄与するとともに、<u>真にイノベーションを創出する「世界の研究ハブ」</u>となることを目標として、以下の3方策を実施する。</p> <p data-bbox="161 651 869 730">(1) 国際競争力の高い<u>研究</u>の強力な推進とそのため の研究マネジメント強化</p> <p data-bbox="510 829 568 865">(略)</p> <p data-bbox="161 917 430 952">社会連携・社会貢献</p> <p data-bbox="495 1008 553 1043">(略)</p> | <p data-bbox="898 204 992 239">研究</p> <p data-bbox="898 252 1606 641">世界の大学や研究機関において抜本的な研究の質向上と国際共同研究の活性化が図られる中、本学が革新的な科学・技術を先導し、産業の進展に寄与する。<u>さらに、学術的な叡智に立脚して社会と科学技術を客観的に分析し、深く洞察することにより未来社会像を描き、その実現に必要な科学・技術を抽出・創出する。これらを通じて真にイノベーションを創出する「世界の研究ハブ」</u>となることを目標として、以下の3方策を実施する。</p> <p data-bbox="898 651 1606 775">(1) 国際競争力の高い<u>重点研究分野</u>と<u>未来社会</u>を見据えた新たな<u>戦略研究分野</u>の強力な推進とそのため の研究マネジメント強化</p> <p data-bbox="1247 829 1305 865">(略)</p> <p data-bbox="898 917 1167 952">社会連携・社会貢献</p> <p data-bbox="1232 1008 1290 1043">(略)</p> | <p data-bbox="1641 430 2083 466">指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p data-bbox="1641 651 2083 686">指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p data-bbox="168 204 293 240">国際化</p> <p data-bbox="168 252 875 507">国際通用性を見据えた教育体系と「世界の研究ハブ」としての本学の在り方を確固なものとするために、以下の3方策により、世界の理工系トップレベルの大学・研究機関との交流・連携を強化し、優秀な研究者・学生との交流を通じて、教育研究の高度化・国際化を推進する。</p> <p data-bbox="495 564 555 596">(略)</p> <p data-bbox="168 651 322 687">ガバナンス</p> <p data-bbox="495 742 555 774">(略)</p> <p data-bbox="174 831 786 863">I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p data-bbox="174 874 465 906">1 教育に関する目標</p> <p data-bbox="185 917 786 949">(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標</p> <p data-bbox="174 960 875 1040">I-1-3. 学生が自らの学修目標の達成に向けて、アウトカムズを意識できる教育を拡充する。</p> <p data-bbox="495 1273 555 1305">(略)</p> | <p data-bbox="909 204 1034 240">国際化</p> <p data-bbox="909 252 1617 507">国際通用性を見据えた教育体系と「世界の研究ハブ」としての本学の在り方を確固なものとするために、以下の3方策により、世界の理工系トップレベルの大学・研究機関との交流・連携・<u>情報交換</u>を強化し、優秀な研究者・学生との交流を通じて、教育研究の高度化・国際化を推進する。</p> <p data-bbox="925 564 985 596">(略)</p> <p data-bbox="909 651 1064 687">ガバナンス</p> <p data-bbox="1238 742 1299 774">(略)</p> <p data-bbox="916 831 1527 863">I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p data-bbox="916 874 1207 906">1 教育に関する目標</p> <p data-bbox="927 917 1527 949">(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標</p> <p data-bbox="916 960 1617 1216">I-1-3. 学生が自らの学修目標の達成に向けて、アウトカムズを意識できる教育を拡充する。<u>特に、博士人材の育成に関しては、融合分野の研究を志向する学生、研究成果の社会実装を目指す学生、博士進学を早期から目指す学生の意欲に応える教育を強化する。</u></p> <p data-bbox="1238 1273 1299 1305">(略)</p> | <p data-bbox="1653 386 2092 418">指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p data-bbox="1653 1053 2092 1085">指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|---|--|
| <p>2 研究に関する目標</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標</p> <p>I-2-1. 本学における研究改革の基本方針に沿って真理を探究する研究，次世代の産業の芽を創出する研究，人類社会の持続的発展のための諸課題の解決を目指す研究を推進する。</p> <p>(略)</p> <p>3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標</p> <p>I-3-1. 社会課題を題材とした教育や，大学の有する知や本学で創造された価値の活用を推進を通して社会・地域との連携を図るとともに，社会貢献を行う。</p> <p>(略)</p> | <p>2 研究に関する目標</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標</p> <p>I-2-1. 本学における研究改革の基本方針に沿って，<u>若手研究者の研究環境を充実しつつ，</u>真理を探究する研究，次世代の産業の芽を創出する研究，人類社会の持続的発展のための諸課題の解決を目指す研究を推進する。</p> <p>(略)</p> <p>3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標</p> <p>I-3-1. 社会課題を題材とした教育や，大学の有する知や本学で創造された価値の活用を推進，<u>学術的な叡智に立脚した未来社会像の提案</u>を通して社会・地域との連携を図るとともに，社会貢献を行う。</p> <p><u>I-3-2. 国立大学法人法第34条の5の規定に基づき，指定国立大学法人における研究の成果を活用した事業を推進する。</u></p> <p>(略)</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

国立大学法人東京工業大学の中期計画 新旧対照表

(太字は「戦略性が高く意欲的な目標・計画」に係る中期計画)

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|---|--|---|
| <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【7】クォーター制の導入による国際化に対応した柔軟な学事暦の設定、シラバスの英文化や英語による授業科目の割合を大学院で90%以上にすることなどによる英語で修了可能なコースの増加等、国際通用性を意識した教育プログラムを構築する。</p> | <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【3 2】融合分野研究とリーダー能力養成プラットフォーム「リーダーシップ教育院」を核とする卓越した大学院教育を実施するとともに、産業界との連携を強化した博士課程教育を実施する。さらに、優秀で研究への熱意がある学生が、複数教員からのアドバイスを受けながら、自由度の高い研究・学修が可能な学士・修士・博士一貫教育 (B2Dプログラム) を実施する。</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【7】クォーター制の導入による国際化に対応した柔軟な学事暦の設定、シラバスの英文化や英語による授業科目の割合を大学院で90%以上にすることなどによる英語で修了可能なコースの増加等、国際通用性を意識した教育プログラムを構築する。さらに、ダブルディグリー・ジョイントディグリーの拡充準備を進める。</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置</p> <p>【8】 留学や海外経験を希望する学生，主体的なプロジェクト活動に取り組む学生，国際的催しに参加する学生，障がいのある学生など多様な学生に対して，経済支援，メンタルヘルス相談，学修設備改善など，学修支援機能を強化し，支援を継続的に実施する。</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> | <p>(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置</p> <p>【8】 <u>外国人留学生，女子学生，留学や海外経験を希望する学生，主体的なプロジェクト活動に取り組む学生，国際的催しに参加する学生，障がいのある学生など多様な学生に対して，独自の奨学金の創設などによる経済支援，メンタルヘルス相談，学修設備改善など，学修支援機能を強化し，支援を継続的に実施する。さらに，産学連携に携わる大学院学生へのRA雇用を充実する。</u></p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【12 2】 <u>若手研究者が研究に集中できる「基礎研究機構」を新設し，顕著な業績を有する研究者の下，若手研究者の基礎研究力を向上させるとともに，長期的視点での卓越した基礎研究の研究成果を継続的に創出する。</u></p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>【14】強い分野を伸ばすため、東工大元素戦略拠点等の既存の研究拠点の強化を進めるとともに、新たな融合領域・新規領域の拠点構想を検討し、拠点形成を推進する。</p> <p>3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>【21】青少年や社会人の教育を通して社会へ貢献するため、初等中等教育の理科教育を支援するとともに、社会人を対象とした生涯学習やIT戦略的マネジメント、技術経営等の新技術の習得の機会を提供し、我が国産業の活性化のために、産業中核人材及び高度人材を育成する。</p> <p>【22】 (略)</p> <p>【23】 (略)</p> | <p>【14】強い分野を伸ばすため、東工大元素戦略拠点等の既存の研究拠点や本学の研究の強みを短中期的に<u>世界トップクラスに伸ばすための重点分野の強化を進めるとともに、中長期的に本学の強みとして新時代をリードしていくための戦略分野に関して、新たな融合領域・新規領域の拠点構想を検討し、拠点形成を推進する。特に、教員間の研究交流の中から、あるいはトップダウンにより、組織を越えた研究ユニット等を柔軟に編成し、スタートアップ支援を行い機動的に立ち上げる。</u></p> <p>3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>【21】青少年や社会人の教育を通して社会へ貢献するため、初等中等教育の理科教育を支援するとともに、社会人を対象とした生涯学習やIT戦略的マネジメント、技術経営等の新技術の習得の機会を提供し、我が国産業の活性化のために、<u>産業中核人材及び高度人材を育成する。また、社会人アカデミー開講数を25件にするなど、社会人教育を拡充する。</u></p> <p>【22】 (略)</p> <p>【23】 (略)</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|--|
| <p>【24】産官学連携を積極的に推進し、産学連携コーディネーター等が民間企業等のニーズと本学教員の有する知見・技術とのマッチングを図り、民間企業との共同研究や技術移転を推進するとともに、地域の中小企業へのアプローチに際して地方自治体の産業振興部署・関係団体との連携を推進するなどにより、本学で創造された知の国内外での応用・活用を促進する。</p> | <p><u>【23 2】社会や科学・技術に対する客観的な分析・洞察に基づき、社会との対話を通じて豊かな未来社会像をデザインする「未来社会DESIGN機構」を設置し、未来社会像とその実現方法に関する情報を世界に向けて発信する。</u></p> <p>【24】産官学連携を積極的に推進し、産学連携コーディネーター等が民間企業等のニーズと本学教員の有する知見・技術とのマッチングを図り、<u>企業と大学の戦略に合わせてテーマ設定とチーム構成を決定する「戦略的共同研究制度（仮称）」の導入など民間企業との共同研究や技術移転を推進するとともに、地域の中小企業へのアプローチに際して地方自治体の産業振興部署・関係団体との連携を推進するなどにより、本学で創造された知の国内外での応用・活用を促進することで、産学連携研究収入を約2倍の規模とする。さらに、ベンチャーキャピタルとの連携を活かしたGAPファンドの設立など、2030年までに東工大発ベンチャーを100社とすることを目指した施策を立案し、順次実行する。</u></p> <p><u>【24 2】「Tokyo Tech Innovation（仮称）」を設立し、個々の企業のニーズに対応した技術指導や受託調査等を担うコンサルティング業務等を開始する。</u></p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|---|---|---|
| <p>4 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) グローバル化に関する目標を達成するための措置</p> <p>【27】 外国人研究者の招へい，教員の海外派遣の推進等により，国際共同研究を推進し，国際共著論文の比率の増加率を10%とする。</p> <p>【28】 世界の理工系トップ大学や研究機関と戦略的な連携の構築，海外大学等へ教員・学生・職員をユニットで派遣する「教職員ユニット派遣制度」の運用等，海外拠点を活用しつつ，危機管理体制整備を図りながら，教職員・研究者・学生の交流を通じて，教育・研究の国際化を推進する。</p> | <p>4 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) グローバル化に関する目標を達成するための措置</p> <p>【27】 <u>世界トップクラスの研究者の異分野交流を促進するTokyo Tech World Research Hub Initiativeなどによる外国人研究者の招へいにより，外国人教員等の割合を約20%に向上させる。</u>また，教員の海外派遣の推進等により，国際共同研究を推進し，国際共著論文の比率の増加率を10%とする。</p> <p>【28】 世界の理工系トップ大学や研究機関と戦略的な連携の構築，海外大学等へ教員・学生・職員をユニットで派遣する「教職員ユニット派遣制度」の運用等，<u>3箇所に新設する「国際共同研究教育拠点(TokyoTech ANNEX)」等の海外拠点を活用しつつ，危機管理体制整備を図りながら，教職員・研究者・学生の交流を通じて，教育・研究の国際化を推進する。</u></p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|---|------------------------|
| <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>【32】「情報活用IR室」を中心として、組織運営に必要な情報を収集分析する機能を強化した上で、既存の企画立案組織を一元的に統合し、戦略立案組織である「<u>企画戦略本部</u>」と、その下で戦術立案と実施を担う「<u>教育・研究・広報の各マネジメントセンター（仮称）</u>」を平成30年度を目処に設置するなど、学長のリーダーシップを十分に発揮できる運営体制を構築する。</p> <p>【35】（略）</p> <p>【36】（略）</p> <p>【37】（略）</p> <p>【38】（略）</p> | <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>【32】「情報活用IR室」を中心として、組織運営に必要な情報を収集分析する機能を強化した上で、既存の企画立案組織を一元的に統合し、戦略立案組織である「<u>戦略統括会議</u>」と、その下で戦術立案と実施を担う「<u>広報・社会連携本部</u>」「<u>教育・国際連携本部</u>」「<u>研究・産学連携本部</u>」「<u>キャンパスマネジメント本部</u>」を設置するなど、学長のリーダーシップを十分に発揮できる運営体制を構築する。<u>さらに、学長がビジョンの提示と経営力強化を主導し、Provostが教学の推進に責任を有する「President-Provost制」を試行しつつ、本格実施に向けた検討・準備を行う。</u></p> <p>【35】（略）</p> <p>【36】（略）</p> <p>【37】（略）</p> <p>【38】（略）</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|---|---|
| <p>2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置</p> <p>【40】 (略)</p> <p>III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置</p> <p>【42】 リサーチアドミニストレーターや産学連携コーディネーター等の専門人材が多面的な情報収集や産業界等との連携を強化し、積極的に外部研究資金を獲得する。</p> <p>【43】 ホームカミングデイの開催やオンラインコミュニティのサービス提供など同窓生及び同窓会との繋がりを強化し、東京工業大学基金（東工大基金）への寄附の増加を図り、教育・研究の充実及びそのための環境整備に有効に活用する。</p> | <p>2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置</p> <p>【40】 (略)</p> <p>III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置</p> <p>【42】 <u>知財管理や経費負担の考え方を整理するとともに、企業等との多様な連携方策を立案しつつ、</u>リサーチアドミニストレーターや産学連携コーディネーター等の専門人材が多面的な情報収集や産業界等との連携を強化し、<u>産学連携研究収入を約2倍の規模に拡大するなど、</u>積極的に外部研究資金を獲得する。</p> <p>【43】 <u>寄附金獲得に向けた戦略に基づき、</u>ホームカミングデイの開催やオンラインコミュニティのサービス提供など<u>国内外の同窓生及び同窓会との繋がりを強化するとともに、ファンドレイザーを6名に拡充するなど寄附募集体制の充実により、</u>東京工業大学基金（東工大基金）への寄附の増加を図り、教育・研究の充実及びそのための環境整備に有効に活用する。</p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |

| 変更前 | 現行 | 変更理由 |
|--|--|---|
| <p>IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置</p> <p>【48】大学における教育・研究活動を，ホームページやプレスリリースなど多様なメディアを通じて積極的に情報発信する。並行して，英語によるコンテンツを充実させ世界に向けても発信する。</p> <p>V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【49】大岡山キャンパスを「教育・研究の場」，すずかけ台キャンパスを「研究・実験の場」，田町キャンパスを「社会連携・国際化等の拠点」とする3キャンパスの総合的利用方針に基づき，抜本的利用計画を立案する。</p> | <p>IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置</p> <p>【48】大学における教育・研究活動を，ホームページやプレスリリースなど多様なメディアを通じて積極的に情報発信する。並行して，<u>広報戦略に基づき，国際広報企画室が英語によるコンテンツや本学の特徴的な教育・研究に関する情報を充実させるとともに，豊かな未来社会像とその実現方法に関する情報を世界に向けても発信する。</u></p> <p>V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置</p> <p>【49】大岡山キャンパスを「教育・研究の場」，すずかけ台キャンパスを「研究・実験の場」，田町キャンパスを「社会連携・国際化等の拠点」とする3キャンパスの総合的利用方針に基づき，抜本的利用計画を立案する。<u>また，田町キャンパスの再開発においては，行政協議に向けて事業計画を策定する。</u></p> | <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> <p>指定国立大学法人構想に伴う変更</p> |